

維持費削減イベント

維-1/1

| 歴年(年号) | 会の名義 | 幹事又は世話役場所 | 備考 |
|-------------------------|------------------------------------|---|---|
| 1978~1988年 昭和53~63 | ケミカーの会 | 坪谷隆夫(文理11) JNC青山 原燃公社社員クラブ | 出席者 約40名 各教室の先生 職員 との期間で5~6回 |
| 1986年 7月31日 昭和61年 | 福清会 名簿発行 | 柴崎芳夫 中原弘雄 | 文理 1回~3/16回 理工 1回~11回 理産 1回~7回 研先生 山本部08 |
| 1986年 昭和61年 4月12日 | 福田先生の 還厂のお祝い ケミカーの会 <福清会> | 大島宣夫 出席者 60名 | 上野タカラホテル✓ |
| 1992年 平成4年4月4日 | 福田先生の 還官記念 理学部化学科 福清会 | 発起人 多数 出席者 248名 真登の星 編集委員 柴崎, 大島, 石井, 加藤, 中原, 阿部, 天海, 落合 名簿の作成(福清会) 柴崎 中原 | アルカテック市谷(私学会館) 真登の星の出版 (出版: 研産総合企画印刷) |

(注) この時期は門下生も多くが企業では中核のポジションを占め重要な役割を演じている。当時は遠方の地であろうと海外であろうと多かれ少なかれ雄飛している門下生もいてやせもすればケミカーの会や(福清会も含め)同志会への帰属意識が薄れがちである。この様な時期を研究室に福清会の事務局を設けてくれた柴崎先生, 中原先生 ともに福清会を精力的にまとめた大島宣夫氏, 更に会員の懇親を添え維持する為に極めてアットホームな会場を提供し続けてくれた坪谷隆夫氏の貢献には謝して尚余り有るものがある。